

「2018日本就業博覧会」参加報告

ERINA 経済交流部経済交流推進員

蔡聖錫

2018年11月、韓日産業・技術協力財団(KJCF)、大韓貿易投資振興公社(KOTRA)などの主催により、韓国・釜山(5日)とソウル(7日)で「2018日本就業博覧会」が行われた。ERINAはKJCFと交流協力協定を結んでおり、日本企業への案内、参加誘致、随行などの協力・支援業務を行っている。従来はKJCFが単独で「韓国青年人材採用相談会¹」という名称で開催してきたが、今年はKOTRAとの初めての共同開催となった。

1. 開催概要

- ・主催:韓国雇用労働部、大韓貿易投資振興公社(KOTRA)、韓国産業人力公団、釜山広域市、韓日産業・技術協力財団(KJCF)
- ・日程: 2018年11月5日(釜山)、2018年11月7日(ソウル)
- ・会場:釜山=BEXCO、ソウル=ロッテホテル(チャムシル)
- ・対象企業:制限なし(但し、KJCFの審査あり)
- ・参加費用:

項目	内容
参加費	無料
交通費	①日本から韓国までの航空券、1社1名に限り50%実費支援(上限3万円まで) [*] ②韓国国内で釜山からソウルまで無料バスを提供
宿泊費	1社1名に限り計4泊無料
食事代	11/5と11/7の2日間の昼食提供 その他は自己負担

^{*} KJCFが支援

2. 参加プロセス

(1) 準備段階

- ①日本企業がERINAに参加申込書(求人票含む)を提出(8月中旬~9月14日)
- ②韓国側で求人票に沿って人材を募集(~9月30日)
- ③日本企業が応募者のなかから面談の相手を選定(10月1日~10月10日)
- ④就業博覧会にて面談を実施(11月5日/11月7日)

(2) 開催当日

事前に作成したスケジュールの通りに面談を行う。言葉については、基本的には日本語で面談を行うが、日本語に対する要求がないのか、英語や韓国語などで面談するところもあった。面談の時間は基本的に一人30分、午前10時から午後5時(昼休み90分)まで1社が1日に最大11回の面談を行うことができる。なお、一部の企業は共同説明会のように1回で複数の応募者と面談する場合もあった(写真1)。

写真1 会場の様子



(出所) ERINA 撮影

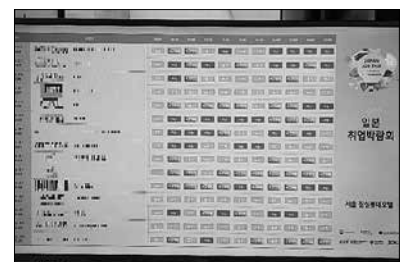
応募者の当日申込・参加も可能で、申込書を作成して、企業のスケジュールが合えば面談を行うことができた。会場では企業の求人票が掲載されており(写真2)、企業のスケジュールも全部モニタリングでき、参加者はリアルタイムで企業の空き時間を確認することができた(写真3)。

写真2 企業の求人票を確認する参加者



(出所) ERINA 撮影

写真3 企業の面談スケジュール(リアルタイムで更新)



(出所) ERINA 撮影

当日は就職面談のほか、隣の会場で「日本就職環境説明会」や就職専門家と既就職者で構成された講師による「就職コンサルティング」も行われた。「日本就職環境説明会」(写真4)では、日本の

¹ ERINA REPORT (PLUS) No.139 (2017年12月)を参照。

労働市場、企業へのアプローチ方法、準備するもの、心構え、就職後の体験談などが紹介された。この説明会は有効的と思われ、現場では説明会を聞いて、参加申込を行う人も少なくなかった。

写真4 日本就職環境説明会の会場



(出所) ERINA 撮影

3. 参加実績

今回の就業博覧会は、釜山会場で100社、ソウル会場で112社の日本企業が参加した。ERINA が随行した4社は、IT 企業2社、製造業1社、教育関連企業1社の構成であった。教育関連企業は釜山・ソウル両方に参加し、その他3社はソウルのみ参加した。それらの企業にヒアリングしたところ、3社は採用したい人がいるということであった。良い結果につながることを期待したい。